

厳しかった冬の寒さも緩み、大分川の岸辺には菜の花が咲き始めました。本日、PTA会長 佐藤康成様、豊流会会長 篠永朋子様はじめ多くの来賓のご臨席をいただき、大分県立大分豊府高等学校第26回卒業式を挙げていただけますことは、卒業生はもとより、本校にとりまして誠に光栄であり、心から感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました277名の26期生の皆さん、卒業おめでとう。「感動・理知・友愛」の校訓のもと、多くの経験を積み、逞しく成長した皆さんの姿を頼もしくまた誇らしく思います。

本日のこの喜びは、皆さんの努力の結果であることはもちろんですが、皆さんのことをいつも思い、力強く支えてくださったご家族と周囲の方々の気持ちを、決して忘れてはなりません。先ほど、ご家族に手渡した一輪の花に込めた気持ちを生涯忘れないでください。

26期生の皆さんは、ワンフォーオール、オールフォーワンを学年スローガンとして、大分豊府での決して楽ではない3年間を過ごして来ました。皆さんの団結力には、何度も驚かされました。26期生の絆を大切に紡いでいけば、世界を変えることができるかもしれない、そんなことを何度も感じました。これから皆さんが生きていく年月に比べれば高校の3年間は一瞬に過ぎないかもしれませんが、しかし、皆さんがここ大分豊府で友達や先生と過ごした時間はかけがえのないものになっていることでしょう。悔しくて泣いた時も、不安で震えた時も、一人ではできないことが仲間となら頑張れる、それを実感できた、大分豊府での3年間ではなかったかと思えます。

これから、新しい世界へ飛び立つ皆さんに一つお願いがあります。これからの皆さんの人生に世界を避けて生きて行くことはできません。世界を、一人の英雄が変える時代は終わり、一人ひとりの思いが世界を変える時代になりました。大分豊府で得た力で、あなたの大事な人も、あなたが知らない人も、誰もが幸せに平和に暮らしていく世界をみんなで創り上げてください。本校の教育目標である、「国際社会で活躍できる人材」として世界に羽ばたいてください。

古い船には新しい水夫が乗り込んでいくだらう 古い船をいま動かせるのは古い水夫じゃないだらう  
私が高校生の頃に聞いた唄です。皆さんは新しい水夫として宇宙船地球号を動かしてください。そして、新しい世界を皆さんの力で創り上げてください。

保護者の皆様、本日はまことにおめでとうございませう。これまで本校の教育活動に対しまして多大なご協力とご支援をいただきましたことを心から感謝申し上げます。皆様のご協力により、本校は大きく発展することができました。これからも、本校は成長し進化し続けます。今後ともご支援をよろしくお願ひいたします。

3年前、皆さんは担任の先生に引率されてこの体育館に入場してきました。あの日が大分豊府高校での出発でした。今日、先生は体育館の入り口までしか付き添いません。この体育館から踏み出す一歩は、皆さん一人ひとりが自分の道を歩き始める大きな一歩です。振り返らず、自分の夢に向かって歩き始めてください。

26期生の皆さん、名残は尽きませうがお別れの時です。皆さんがいつまでも自分らしく、自分の夢に向ひ、精一杯歩き続けることを祈念して式辞といたします。

平成26年3月1日

大分県立大分豊府高等学校 校長 有定裕雅